

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団  
平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1、事業名：柏市障がい者施設歯科健診、調査および啓発事業

2、申請者名：一般社団法人柏歯科医師会 会長 赤羽康彦

3、実施組織：一般社団法人柏歯科医師会

4、事業の概要：

現在、柏市の障がい者施設への歯科健診は、数年に一度の割合となっているため、次の健診までに疾病が進行し口腔機能が悪化する可能性がある。そのため可能であれば1年に1回の健診が望まれる。

柏市では、平成 22 年に特殊歯科診療室を開設し、障がい者の治療体制は整っている。

そこでまずは、市内の障がい者施設にアンケートを実地し、歯科健診の実態調査、現状を把握したいと考える。

希望の施設には、歯科健診ならびにご家族、施設従事者に対して歯・口腔の健康について啓発を行う。

最終目標として、柏市と共に通年的に歯科健診を行うよう協議していきたい。また、特殊歯科診療室と連携を取り障がい者の歯・口腔の健康維持に柏市全体として取り組んでいきたいと考える。

5、事業の内容：

障がい者施設への歯科健診を行い口腔内の実態調査を行った。合わせてご家族への説明、施設従事者への講話を行い歯・口腔の健康の重要性を啓発した。治療が必要な受診者に対しては、柏市医療センター特殊歯科診療所の受診を基本に歯科受診を勧めた。柏市にはこれを基本に障がい者施設への歯科健診の通年化を働きかけ次年度以降は予算を市から計上してもらうよう協議した。

6、実施後の評価：

健診結果及びアンケートよりかかりつけ歯科7割である。そのうち定期的に行かれている方もいる。

しかし、健全は3割でありう蝕本数をみても5本以上の方は14名（87名）16%いる。

今回の3施設のうち2施設は健康づくり課にて例年指導をしている施設であり、歯科、口腔に関心が高い施設であると思われるが、それでもう蝕5本以上が16%という数字をどう判断するか。

できれば、今回手あげをしていない施設の健診も望まれるが、施設自体に関心がなければ指導協力体制も取れず実地したということで終わりかねない。そこでまずは、そのような施設責任者に啓発講話講習を行い関心を持っていただき、その上で今回と同じアンケートを行い指導を望むところを募る。もし、健診まで希望であれば行いたい。

歯科医師会と特殊歯科との協議で通念的な健診は、行政の予算計上はハードルが高いとの意見が出された。そのため今後一定の期間は歯科医師会の事業として予算立てし、今回の3施設において追跡調査健診を行うのはどうかとの意見が出された。歯科医師会会員としても障がい者歯科に携われる良い機会になると思われる。

また、かかりつけ歯科があるにも関わらず疾病の改善傾向みられない受診者においては、保護者の相談にのり、改善策を模索する。そして、この継続をもとにデータを蓄積し結果次第では行政へ健診の必要性を説明し、いざ行政の予算において健診事業を推進して頂けることを申し入れる。